

ま ち の 話 題



第30回県子連芸能文化祭

3月7日(日)、大分県子ども会育成会連絡協議会主催の芸能文化祭が武蔵セントラルホールで開催され、県内各地の子ども会10団体・約300人が参加しました。この文化祭は、伝承芸能文化の継承と子どもたちの斬新な創作活動の更なる発展を目的に毎年開催されています。

国東市からは、武蔵町手野子ども会の「手野神楽」や内田子ども会の「太鼓・龍神物語」などが出演しました。フィナーレでは、ジュニアリーダーの中学生、高校生と一緒に会場の子もたちもダンスを踊り交流を深めました。



国東小学校で二分の一成人式

3月9日(火)、国東小学校で二分の一成人式が行われました。式では、45人の4年生が一人ひとり保護者への感謝のことばや将来の夢を発表しました。また、重吉喜一郎校長から児童代表の馬場海斗君、清水香花さんへお祝いのプレゼントが手渡され、節目の10歳をみんなで祝いました。



大分トリニータへ募金

3月4日(木)、安岐町富清の友成勇太郎君(安岐中央小学校6年)が、大分トリニータを支援しようと安岐中央公民館を訪れ、小学校1年生の時から貯めていたお小遣いを募金しました。

友成君は、「トリニータが困っているから」とこつこつ貯めた貯金を募金し、「頑張ってJ1に復帰してほしい」と話していました。

なお国東市では大分トリニータを支援するため、昨年12月から市内10カ所に募金箱を設置し友成君の募金を含めた3万6,245円を寄付しました。



リングプルを集めて、車いすを寄付

3月16日(火)、武蔵保健福祉センターで、ひよこの会(高橋富士恵代表)から国東市社会福祉協議会へ車いすが贈られました。同会は高橋さんの長男の翔太さん(武蔵中1年)が小学校に入学した平成15年からリングプルを集め始め、武蔵東小学校児童会も収集に協力して、これまでに7年間で510kg・約200万個を集め、北海道のリングプル再生ネットワークで車椅子と交換されました。

贈呈式は、児童会長として収集活動に取り組んだ小・中学生も出席して行われ、代表して高橋翔太さんから野田侃生会長へ車いすが贈られました。